

第 47 回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 広島大会進行マニュアル（案 3）

【準備物】

	準 備 物	担当者等
1	イス 1 脚 50 円、長机 1 台 50 円、展示パネル 90×180 1 台 100 円	会場設備使用
2	タイマー(無料)、放送設備(マイク 2 本) 1 日 1、600 円	会場設備使用
3	冷暖房(武道場 1 時間 400 円・ミーティングルーム会場費に含む)	会場設備使用
4	取札 105 個(27・27・27・12・12)、読札 2 個、読唱箱 1 個、予備札 1 個	藤谷
5	文具箱一式(角印、ゴム印、領収書等)、プリンター&インク	藤谷
6	賞状 4 枚	久保
7	ビニールテープ(目張り用)、クリップボード 19 枚	藤谷
8	マニュアル 20、パンフレット 26+20、掲示物(横断幕等)	廣本
9	オーダー票、推薦状、拡大リーグ・トーナメント表、ペナント	藤谷
10	写真撮影用カメラ	海江田
11	優勝杯(持ち回り)	海江田
12	全国大会要項	中村
13	救急用品	藤谷

※担当者が責任を持って準備物を準備する。

【使用会場】シシンヨーオークアリーナ（電話 0823-74-0909）

使用時間（１）（２）とも 9：00～18：00＜合計 43、740 円＋備品使用料＞

（１）武道場（競技会場）

（２）ミーティングルーム 6（選手控室）

＜注＞備品使用費は別途加算。当日帰る際の支払いでかまわない。

ミーティングルームのコンセント使用は使用不可とする。（金額が発生）

武道場のコンセント使用も競技関係のみ使用無料。スマホ充電等不可。

【参加予定校】 ＜7 校 11 チーム＞

■基町高校 A・B ■祇園北高校 A・B ■ノートルダム清心高校 A・B
■尾道高校 A・B ■呉高校 ■武田高校 ■三原高校

6月1日（日）

8：50 大会役員教員は会場入口集合（審判長・読手は9:15 までに会場内に集合）
大会役員に大会マニュアルを渡し必要事項を確認する。（競技委員長・藤谷）

9：00 開場・受付準備・会場準備

- ①掲示＝「選手控室（2枚）」「大会本部（1枚）」、横断幕・トーナメント表（展示パネル2枚と1枚に画びょう留め）
- ②イス 11 脚・机 3 脚を会場図通りに配置する。

9：10～9：25 受付（原田・村瀬）受付係生徒：三原高校

参加〔祇園北2・基町2・清心2・尾道2・三原・呉・武田〕

- ① 参加費（1 チーム 2,000 円）を学校単位で受け取り、領収書を発行する。未加盟の学校は加盟費 2,000 円も徴収する。（会計：原田）
- ②各チームに大会パンフ 2 部ずつとクリップボードにはさんだオーダー票を渡す。

9：25～9：28 選手整列

※各校の監督は、自校の選手に、9 時 30 分までに開会時の図どおりに並ぶよう指示する。
その際にパンフレットを携帯させる。

9：30～9：35 競技説明・諸注意（高橋審判長・藤谷競技委員長）

＜高橋審判長＞

「競技説明を行います。本日の審判長を務めます広島紅葉かるた会の高橋です。よろしくお願いします。私以外に、若鯉KCの丸山さんが審判員を務めます。読手は一般社団法人全日本かるた協会専任読手の廣本さん、公認読手の藤井さんと加茂さんが務めます。なお読手は全員審判員と競技委員を兼ねます。」

「パンフレット 2 ページにある競技方法・進行手順及びルールについて説明します。本日の競技は、一般社団法人全日本かるた協会の競技規程及び競技規程細則にしたがって行います。かけ声は、チームならびにメンバーを鼓舞し、勝利に導くために行うことができます。以下の声かけは禁止します。相手ならびに相手チームを中傷または牽制・威圧すること。読みの妨げとなるタイミングで声を発すること。チームならびにメンバーに聞こえる以上の大きな声を出すこと。頻繁な声かけと応答をすること。きまり字や送り札、残り札を知らせるような声を発することです。」

「オーダー票提出締切時刻は、前試合終了後 8 分とし、このタイマーで計測します。進行手順にもあるとおり、締切時刻に提出が遅れたチームは失格とします。」

「また、オーダー票提出締切時刻から 2 分以内に所定のコートにオーダー順に着座してください。着座までの時間もタイマーで計測します。」

「その他、2 ページに書いてある内容をよく読んで試合に臨んでください。」

＜藤谷競技委員長＞

「競技委員長の藤谷です。諸注意を行います。」

- ・本大会の優勝校を7月に行われる全国高校選手権の広島県代表に推薦する。
- ・試合の観覧については、制限を設けない。ただし、会場のスペース等を考慮し、審判長から観覧を禁止する判断がなされた場合はそれに従うこと。
- ・選手控室の使用 ・飲食及びごみ処理

9：35～9：45 予選リーグ組み合わせ抽選（競技委員長・審判長）

（1）競技委員長が各チーム代表を抽選順に整列させ、抽選方法を説明する。

①シードチーム＜第1：祇園北A、第2：基町A、第3：清心A＞

この3チームについては第1～第3の順に抽選を行う。シード校が同ブロックになった場合は再抽選。

②2チーム校＜尾道A、尾道B、祇園北B、基町B、清心B、＞

この5チームについては予備抽選を行い、予備抽選順に本抽選を行う。同一校が同ブロックになった場合は再抽選。

③1チーム校＜三原、呉、武田＞【申込順で抽選を行う。】

（2）各チーム代表による抽選

①競技委員長が抽選箱に取り札を入れる。

②上記1の①～③の順に各チーム代表が抽選を行う。

※2チーム校については引き直しに注意しながら抽選を行う。

※競技委員長が進行し、審判長が間違いないかの複数チェック体制を取る。

※記録係（中村）が拡大予選リーグ表（展示パネル）に記入する。

※記録係（深水・中里・清水佑）はパソコンのExcel リーグ表（入力用）に入力する。

③抽選後に競技委員長がオーダー票提出締切時刻を告知する。

10：00～17：23 競技（全5試合の予定・昼食時間なし）

10:00～11:20 予選リーグ1回戦（オーダー票提出締切 9:55）…使用札「しら」

11:33～12:53 予選リーグ2回戦（オーダー票提出締切 11:30）…使用札「つき」

13:06～14:27 予選リーグ3回戦（オーダー票提出締切 13:03）…使用札「ゆう」

14:40～15:55 準決勝戦（オーダー票提出締切 14:37）…使用札「みち」

16:08～17:23 決勝戦・3位決定戦（オーダー票提出締切 16:05）…使用札「もろ」

※試合の進行によっては前後する場合もある。

①予選リーグは勝ち点の最も多いチームを1位とする。ただし、勝ち点が同数の場合、勝利数の多い方のチームを上位とする。

②勝ち点・勝利数ともに同じ場合は、将順の「勝ち数」を比較して上位を決定する。なお、将順の「勝ち数」がすべて同一の場合は、抽選で決定する。

③予選リーグのAブロックとBブロックの2位のチームのうち、上記の①・②の基準で決勝トーナメント出場チームを決める。

- オーダー票提出時間、暗記時間の通告（審判長）
- オーダー票と記録用トーナメント表への記入＜○×不・枚数差＞（記録係）
- 取り札の配置と回収（審判） 使用後の札の確認（全員）
- 賞状印刷（賞状係）
- 試合結果の整理・確認・最終結果のホームページへの掲載（記録係）

17:30～17:40 閉会式（久保）式典係生徒：清心高校

成績発表および表彰

「成績発表および表彰を行います。呼ばれたチームは全員前に出てきてください。」

「優勝 ○○高校…」

「準優勝 ○○高校…」

「3 位 ○○高校…」

「以上をもちまして、第47回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会広島大会を閉会します。」

「たがいの健闘をたたえ、拍手で終わりたいと思います。」

「みなさま忘れ物のないようお帰りください。」

17:40～17:50 後片付け・清掃（協力して行う。） 17:55 全員退出完了

【大会役員】 ※複数名の場合は○が責任者

＜競技役員＞

大会会長 永山弘（ノートルダム清心校長）

競技委員長 藤谷幸治（清心）

式典 久保真大郎（清心） ※式典係＝清心部員

会計・受付 ○原田由紀子（三原） 村瀬浩史（武田） ※受付＝三原部員

記録 ○中村涼帆（基町） 深水春愛（尾道）

中里麻由美（尾道） 清水佑一（呉）

賞状 ○久保真大郎（清心） 村瀬浩史（武田）

写真 海江田真利江（祇園北）

＜審判・読手＞ ※読手は全員審判員と競技委員を兼ねます。

審判長 高橋真生（一般社団法人全日本かるた協会準公認審判員・広島紅葉かるた会）

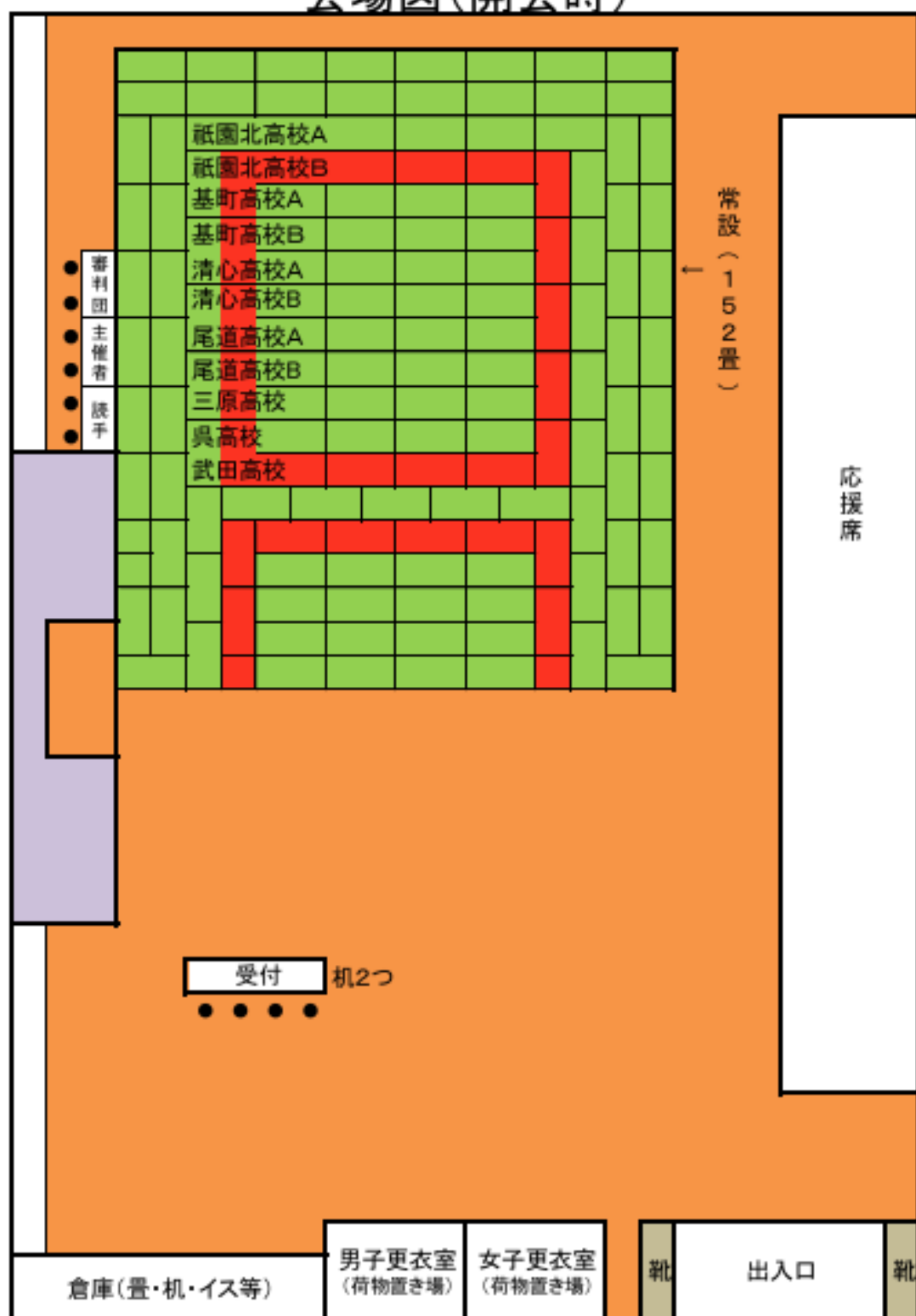
審判員 丸山祐実（若鯉KC）

読手 藤井春菜（一般社団法人全日本かるた協会公認読手） 1、4回戦

〃 加茂優太（一般社団法人全日本かるた協会公認読手） 2、5回戦

〃 廣本幸紀（一般社団法人全日本かるた協会専任読手） 3回戦

会場図(開会時)



会場図(競技時)

